

項目		説明
試料・情報の利用目的 及び 利用方法	研究課題名	高リスク骨髄系腫瘍に対する連続レジメン移植の臨床的検討
	研究目的	造血器疾患の移植成績は原疾患の腫瘍コントロールに依存し、再発難治性疾患や非寛解期の移植成績は不良である。近年、実臨床では、腫瘍コントロール目的として、化学療法をコンパクトに連続させ、同種移植へ橋渡しする治療戦略が用いられるようになってきた。しかしながら、その実態や治療成績は不明な点が多い。本研究では、高リスク骨髄系腫瘍を対象として、移植前連続レジメンの意義を検討する。連続レジメンの定義として、低用量化学療法投与終了 14 日以内または、強力化学療法終了 21 日以内の前処置開始とした。主要評価項目は、全生存率、副次的評価項目は、無イベント生存率、再発率、非再発死亡率など。
	研究対象者	2014 年 1 月から 2023 年 3 月研究承認日までに、当院血液内科にて高リスク骨髄系腫瘍に対して、連続レジメン施行後に同種移植を施行した患者さん。
	研究期間	西暦 2023 年 3 月 27 日～西暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載し <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 て下さい)	
試料・情報の管理についての責任者	当センター研究責任者	立花崇孝
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター血液内科 立花崇孝	